

(公社)宮古島市シルバー人材センター会員拡大に向けた アンケート調査結果報告

令和6年4月

I 調査の概要

1 調査目的

入会説明会及び相談会に参加した高齢者に対し、入会等に係るアンケート調査を実施することにより、今後の会員拡大を効果的に推進することを目的とする。

2 実施主体

(公社)宮古島市シルバー人材センター

3 調査内容

- (1) 地区別
- (2) 性別
- (3) 年齢
- (4) シルバー人材センターを知ったきっかけ
- (5) 入会説明会の内容について
- (6) 説明後の入会希望
- (7) 上記(6)で「②希望しない」または「③検討したい」場合の理由
- (8) ご意見やご要望

4 調査対象者

入会説明会及び相談会に参加した高齢者

5 調査方法

参加者に記載を依頼し、その内容をまとめる

6 調査期間

令和5年4月～令和6年3月

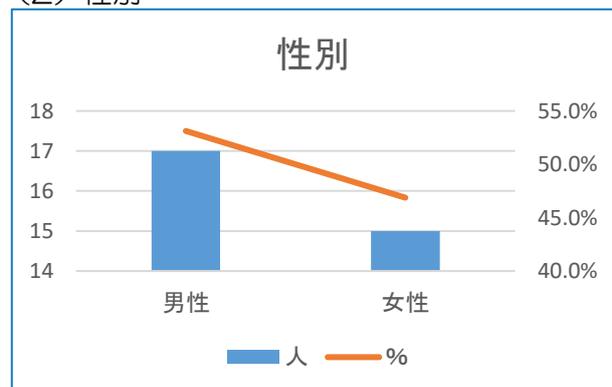
II 調査結果

◎ 回収数 (合計32名)

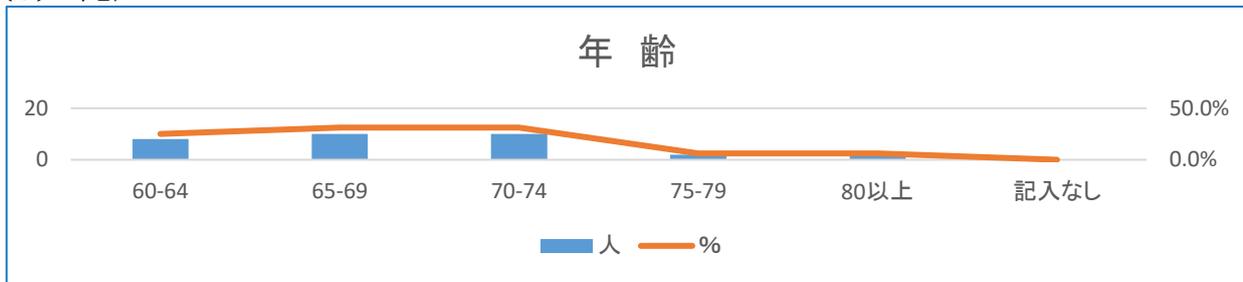
(1) 地区別



(2) 性別

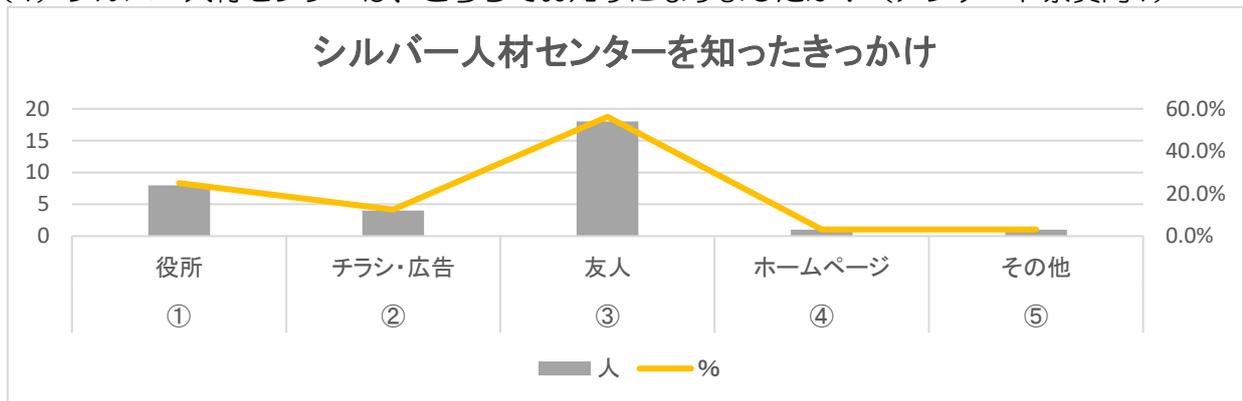


(3) 年齢



アンケート回答者の年齢構成は「60～64歳」が8名（25%）、「65～69歳」が10名（31.3%）、「70～74歳」が10名（31.3%）、「75～79歳」が2名（6.3%）、「80歳以上」が2名（6.3%）、「記入なし」は0名となっている。65歳から74歳の会員希望者が20名と最も多く、全体の62.6%となっていることから、その年代のニーズに合った就業を開拓していくことが望まれる。また、家事援助サービスを希望する会員希望者が6名と訪問型サービスAの就業に結びつけるよう望まれる。

(4) シルバー人材センターは、どちらでお知りになりましたか？（アンケート票質問1）



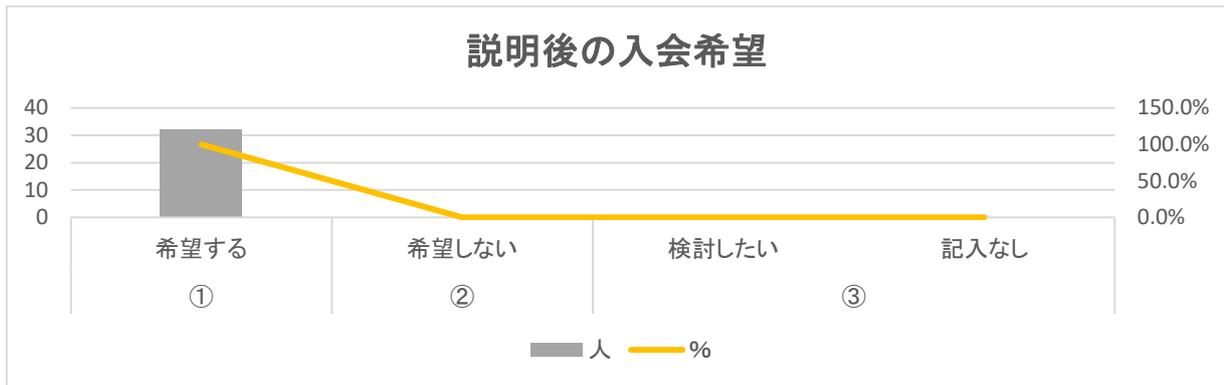
入会説明会参加者のシルバー人材センター情報の入手経路(方法)は、「友人の紹介」が18名(56.3%)と最も多く、「センターチラシや新聞等、市の広報誌」が4名(12.5%)で、「役所から紹介」が8名(25.0%)で「センターホームページ」「その他」ともにそれぞれ1名(3.1%)となった。このことから、入会促進には友人知人による口コミが最も効果的で、会員ひとりひとりの口コミ運動の成果が見られた。また、生涯現役促進事業との連携で「お仕事紹介フェア」や「高齢者セミナー講習会、スマホ講習会」等の入会説明会での成果もみられた。

(5) 本日の、入会説明会の内容は？（アンケート票質問2）



入会説明会の内容は、「分かりやすかった」が32名（100%）となった。

(6) 本日の説明をお聞きになり、シルバー人材センターへの入会を希望されますか？
(アンケート票質問3)



入会説明会での説明を聞いて、入会を「希望する」が32名（100%）となりセンターの目的や活動内容に理解を示す参加者が多く、シニアライフセミナーや、これからのデジタル社会へ向けての講習会や女性会員拡大に向けて取り組んでいきたい。

(7) 前出質問(6)で、「②希望しない」又は「③検討したい」と回答された方にお聞きします。その理由は何ですか？
(アンケート票質問4) (複数回答可)



今回は①～⑤への回答は得られなかった。

(8) シルバー人材センターに対するご意見やご要望は、以下の通りとなった。
(アンケート票質問5) (自由記入欄)

- 健康維持のため、いっぱい働きたい。
- 友人の紹介で説明会に来てみた。
- 市役所から紹介され訪問型サービスAに興味があり来てみた。